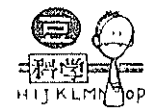


電気と言えは水力発電所が今までは常識でした。山が高く雨量の多い日本では最も有利な方法でありました。最近では水力もほぼ利用されつくしたので、石炭から重油を燃やす火力発電が水力にとってかわりつつあります。

火力発電も煙突から出るガスやちりのためむつかしくなってきたりしています。残るは原子力発電があります。



最近の発電

磁場の中で電気が流れるもの、たとえば銅線を動かせば銅線に電気が流れます。この場合磁場が強いほど、また銅線が速く動くほど強い電気が流れます。現在の発電機は強い磁場内で銅線を捲いた回転子が廻って電気を起しています。

最近ではMHD発電と言う原理が盛んに研究されています。これは強い磁場内で高温ガスを速く流して発電するもので、今までのものよりははるかに効率がすぐれています。金属をマイナス二百七十三度近くまで冷やすと一度電気を流せばいつまでも流れる性質があります。

最近の技術の進歩によりM電気では、この性質を利用してこれまでの最高の三倍の強い磁場の発生に成功しました。もち論世界で一番です。今までの発電機は、モーターを大型にしたような型でしたが、近い時期に全然型が変わったMHD発電機が至るところの発電所に見られるようになることでしょう。



首の前面をふれると、三角柱状の喉頭を容易に触れることができます。男性ではその前縁が著しく突き出しています。アダムが楽園で食べた禁断の果のリンゴがここに引っかかっているという伝説があります。

この部分をアダムのリンゴと呼んでいます。試みにアダムのリンゴに指を当てて、声を出すと、かすかに振動にふれることができます。これは喉頭のほぼ中央部に位置する二枚の声帯の振動が皮下を伝わるためです。もし左右の声帯の振動が規則正しく、周期的に繰返されれば声は美しいものです。声帯に炎症が起ったり、腫瘍がきたり、声帯の運動が障害され

声の衛生

医学博士 柳原尚明

と、声帯の振動が障害され、声はそのひびきを失い、余分な濁りを生じ、いわゆるクシワガレ声々となります。若い間は声帯を動かす筋肉に力があり、声帯周辺の腺組織から分泌される声帯の潤滑油に相当する分泌液も豊富であり、声は力強く、美しいひびきをもち

日本人には案外声に対して無頓着である人が多く、数年前、池田首相が喉頭痛で亡くなられたことは記憶に新しいものです。彼の演説を聞いて、私は以前より声がおかしい、何か声帯に異常があるのではないかと感じていただけに、彼の健康を管理していた医団のふ

ます。もし、池田首相あるいは側近が声の診察を早期に受けることに気付いておれば不幸は逃れ得たことでしょう。では、声の健康を保つためには如何にすれば良いか、声帯は声を出している間、一秒間に六十〜千回の振動を行います。その仕組は真に精巧で、わずかな声帯の変化でも声の障害が起ります。声の障害の原因として最も多いのはいわゆる風邪の場合で、急性の喉頭の炎症によるものです。声の使い過ぎ、声の誤った使用、すなわち異常に高い声、大きい声、のどに過度の緊張がかかるような発声は、声帯の肥厚や出血の原因となります。

水道工事は指定工事店で

水道の引き込み工事や故障の修理など、使用者の管理になるもの水道工事はすべて市の指定してある水道工事店が行ないます。指定工事店以外のものや自分勝手に工事することはできません。

- ▼高橋水道店 (久礼田) 電 〇七五一
- ▼山本水道店 (四府) 電 (呼) 六七六六
- ▼高橋工務店 (東崎) 電 二六六七
- ▼福川工務店 (東崎) 電 三〇八九
- ▼山下水道店 (東崎) 電 三三〇五
- ▼南国水道店 (廿枝) 電 (呼) 三三〇五
- ▼野村ポンプ工業所 (大埔) 電 二五〇七
- ▼横田工務店 (稲生) 電 五二六一